

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10642001				
授業名	現代社会論	形態	講義	単位	2
担当教員	山本 功				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	火曜1限		
授業目的	前期授業「社会学概論」で学んだ社会学理論を踏まえて、現代社会の諸相について、社会学的な概念を用いて把握できる力をもつことをめざす。				
授業内容	この授業は、前学期の「社会学概論」を受け継いで、現代社会について社会学的に理解することをめざす内容である。 主として日本の戦後から高度成長期以降の社会、さらには現在進行形の社会を総体として把握するための理論および現象を講義形式により講述することを目的とする。前学期に学習した古典的な社会学理論につづき、20世紀の社会学理論のいくつかを紹介するとともに、大衆社会論、産業社会論、管理社会論、情報社会論等を扱い、社会現象として犯罪・非行、自殺、地域社会の変化、若者文化、高度情報化、セクシュアリティ、人権問題等について、事例を示しながら社会学的な分析を行う。				
到達目標	具体的な現象を抽象的な概念を用いて把握することと、抽象的な概念を具体的な現象にあてはめることの往復的思考ができる力を身につける。たとえば、日常生活のなかで目にするもののある「暴力」という現象を、複数の社会学的概念で把握できるようになること。「権力」や「支配」といった概念であったり、あるいは「演技」という概念の適用も可能かもしれない。他方、「アノミー」「ステイグマ」といった社会学的概念をもって、日常生活の様々な現象を拾い上げるという方向での思考力をも身につけたい。				
ディプロマポリシーとの関連性	<コDP2-(1)> コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。				
授業形態	基本的には講義形式であるが、適宜、アクティブ・ラーニングとしてグループ・ワーク、ペア・ワーク等を行う。また、授業中に発言を求める。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	星野 潔・杉浦郁子 編著『テキスト社会学』学文社（前学期「社会学概論」と同じ）				
評価方法	事前事後学習と試験によって評価する。				
評価基準	レポート（事前事後学習）20点、試験80点。				
試験・レポート等のフィードバック	基本的にS-Naviのクラスプロファイル機能で提出された事前事後課題に対して、同機能でフィードバックしていく。添付ファイルにせずに、コメント欄に書き込むこと。  参考文献を使用した場合は明記すること。著者名、出版年、書名、出版社を示すこと。 （例）澤登俊雄，1994，『少年法入門』有斐閣。 インターネット上のサイトをした場合は、サイト名、URLを明記すること。 （例）警察庁・組織犯罪対策部サイト， <a href="https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/index.htm">https://www.npa.go.jp/sosikihanzai/index.htm</a> より詳しい書式の情報が必要な際は、日本社会学会の『社会学評論スタイルガイド』に準拠する。 以下のURLで閲覧可能である。社会学評論スタイルガイドのサイト <a href="http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php">http://www.gakkai.ne.jp/jss/bulletin/guide.php</a>				
注意事項及び履修条件	事前事後学習を欠かさないこと。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	自分の身の回りのルール違反行動をひとつとりあげてみる。1) どうしてそれが「ルール違反」と言えるのかを説明する。2) そのルール違反行動に対して周囲の人びとがどのように反応したかを書く。S-Naviで提出。
授業内容	犯罪と非行（1） 「犯罪」とは何か、社会学的観点から講義する。
事後学習	道徳的に非難される行為と、法的な「犯罪」概念のずれについて、具体例をあげて論じなさい。その際、講義で紹介したデュルケムの犯罪論を参照すること。S-Naviで提出。
参考文献	矢島・丸・山本 編著『よくわかる犯罪社会学入門』学陽書房。

第2回	
事前学習	新聞から何らかの、未成年者による犯罪に関する記事を取りあげ、なぜそうした犯罪がおきたのかを考察しS-Naviで提出。
授業内容	犯罪と非行（2） 「非行」とは何か、社会学的観点から講義する。
事後学習	犯罪や非行にかかわる公的機関には、どのようなものがあるか調べなさい。最低5つ以上。また、その公的機関で働いている公務員の職名も調べなさい。S-Naviで提出。

第3回	
事前学習	少年法の適用年齢を20歳未満から18歳未満に引き下げるべきとの議論がある。大学図書館の新聞記事データベースを活用し、この問題に関する記事を探し出し、あなたの考えを書きなさい。記事の掲載年月日、掲載紙を明記したうえで、S-N a v i で提出。
授業内容	犯罪と非行（3） 成人の刑事司法手続きと、少年司法手続きの違いについて概説し、その背景について説明する。その際、この講義は法学ではなく社会学であるので、<子ども> 観に焦点があてられる。ある社会が大人と子どもをどのように区別しているのか、社会学的な観察と分析を行いたい。また、この区別はある社会がどのような人間観を基軸としているか、ということに関わる。
事後学習	あなた自身が、行為主義と行為者主義のどちらを支持するか、考えを書いてください。S-N a v i で提出。
参考文献	P. アリエス『<子供>の誕生』

第4回	
事前学習	まず、インターネットで、何かしら社会に関する統計を、少なくとも3種類取り上げてください。調査主体、調査方法も明記すること。ついで、その統計データについて、あなた自身が「信用できる」かどうか、判断してください。信用できるならその根拠を、信用できないなら、なぜ信用できないかを書いてください。S-N a v i で提出。
授業内容	どうして我々は犯罪について語りえるのかを論じる。（1）犯罪に関するマスメディアの報道、（2）犯罪に関する公式統計、（3）暗数問題、（4）社会調査の必要性を解説する。 トピックスとしては犯罪統計を扱うが、この問題は、犯罪のみではなく、あらゆる社会現象にあてはまる問題であり、敷衍して言えば、「我々はどのようにして社会について知りえるのか」ということになる。
事後学習	犯罪以外の「暗数問題」の例をひとつ考え、その対処法を提案してください。S-N a v i で提出。
参考文献	浜井浩一『犯罪統計入門』、J. ベスト『統計はこうしてウソをつく-だまされないための統計学入門』

第5回	
事前学習	千葉市の自殺対策サイト <a href="https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/chiikifukushi/jishiindex.html">https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/chiikifukushi/jishiindex.html</a> を閲覧して、千葉市がどのような自殺対策を実施しているか、学習してください。 ただし、この課題がしんどい人は個別に相談してください。個別に別の課題を提示します。
授業内容	前学期の社会学概論で扱った、現代日本の自殺対策の現況について、簡単にふりかえります。 【ゲストスピーカー】 ついで、千葉市の自殺対策について、千葉市保健福祉局地域福祉課の方にお話ししてもらいます。
事後学習	大学生が、自殺対策にどのような寄与ができるか、アイデアを出してください。S-N a v i で提出。 ただし、この課題がしんどいようであれば、個別にご相談ください。個別に、別の課題を提示します。
参考文献	澤田康幸・上田 路子・松林 哲也『自殺のない社会へ』

第6回	
事前学習	千葉市の発行しているパンフレット「デートDVってなに？」をダウンロードしてください。以下のサイトにあります。 <a href="https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/danjo/ddv.html">https://www.city.chiba.jp/shimin/seikatsubunka/danjo/ddv.html</a> これを見て、感想を書いてください。S-N a v i で提出。
授業内容	親密な関係における暴力（1）DV、デートDV、ストーキングといった事案がどのように社会問題としてたちあがってきたか、概略を紹介する。
事後学習	講義を聞いての感想を書いてください。S-N a v i で提出。
参考文献	内閣府男女共同参画局のサイト <a href="http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/violence_research/yobou/">http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/violence_research/yobou/</a>

第7回	
事前学習	警察庁のストーカー被害防止サイト <a href="https://www.npa.go.jp/cafe-mizen/">https://www.npa.go.jp/cafe-mizen/</a> を見て、感想を書いてください。
授業内容	親密な関係における暴力（2）ストーカーに関する最新の調査研究を紹介する。ストーカーは近年、DVやデートDVとの連続性が注目され、「親密な関係における暴力」のひとつとの位置づけが与えられつつある。調査データを報告するとともに、それを踏まえてグループでディスカッションを実施する。
事後学習	高校や大学で、「親密な関係における暴力」を防止するためにどのような施策が可能か、アイデアを提出してください。S-N a v i で提出。
参考文献	「デートDV」「大学」「防止」でネット検索してみてください。

第8回	
事前学習	千葉県警察の暴力団対策のサイトを見て、千葉県警がどのような暴力団対策を実施しているのか学んでください。 <a href="http://www.police.pref.chiba.jp/so4ka/safe-life_gangsters-03.html">http://www.police.pref.chiba.jp/so4ka/safe-life_gangsters-03.html</a>
授業内容	組織犯罪の典型例として、暴力団を取り上げる。暴力団の歴史を概説し、現状について紹介する。
事後学習	以下の（A）（B）どちらかの課題を選択してください。 （A）もしあなたの住んでいる地域に暴力団関係とおぼしき人が住んでいたら、その地域で彼らが

	<p>どのような機能を果たし、地域住民とどのような関係にあるのかを報告してください。ただし、あなたの住んでいる地域名や個人名や企業名は絶対に書かないください。</p> <p>(B) 暴力団やヤクザを扱った映画・マンガ・小説をなにかひとつ取り上げ、どのような論理で彼らが「ヒーロー」として描かれているかを分析してください。</p> <p>(A) (B) いずれもS-N a v i で提出。</p>
参考文献	廣末登『ヤクザになる理由』

第9回	
事前学習	中高時代を思い出し、あなたが「いやだな」「無駄だ」と思っていた学校の規則をひとつ取りあげなさい。そして、どうしてそう思っていたのかを簡単に書きとめたメモを作成しなさい。S-N a v i で提出。
授業内容	マーソンの社会学について概説する。とりわけ、「中範囲の社会理論」という考え方と、「機能」-「逆機能」、「顕在的機能」-「潜在的機能」という考え方を獲得する。もって、実証主義的に逸脱/社会問題を研究するスタンスを理解する。さらには、これらの考え方は社会を把握する社会調査において仮説を立てる際に有用であることを理解する。
事後学習	事前学習で書きとめたメモをもとに、マーソンの機能分析を踏まえて分析しなさい。特に、あなたが「いやだな」「無駄だ」と思っていた学校の規則の潜在的機能、逆機能について論じなさい。S-N a v i で提出。
参考文献	星野 潔・杉浦郁子 編著『テキスト社会学』第2章第2節

第10回	
事前学習	前学期の「社会学概論」で学んだ、デュルケムの「社会的事実」という概念について復習してください。
授業内容	構築主義社会問題論(1) 前回と対比させ、実証主義的ではない逸脱/社会問題の社会学的研究を紹介する。具体的には、構築主義社会問題論を取り上げる。まずは、この見方がデュルケムの社会学主義、ジンメル相互作用論、シカゴ学派のシンボリック相互作用論といった社会学史上の系譜に位置づけられることを論じる。
事後学習	講義を聞いての感想を書いてください。S-N a v i で提出。
参考文献	中河伸俊・赤川学[編]『方法としての構築主義』

第11回	
事前学習	かつては問題視されなかったが、今は逸脱とみなされていることと、逆に、かつては逸脱視されていたが、現在は当然のこととなっていることを、それぞれひとつ以上考え出してください。具体的な資料があればなおよいです。S-N a v i で提出。
授業内容	構築主義社会問題論(2) 構築主義からの社会問題研究の具体的な事例を複数紹介する。様々なトピックスを扱いつつ、社会を実態としてではなく、人びとの言語的やりとりにおいて構築されるもの、という点で一貫していることを理解してほしい。
事後学習	講義で複数の研究事例を紹介するが、もし自分が構築主義的な研究をするとしたら、どのような事例をとりあげ、どのような方法で調査をするかを構想して、調査研究の企画書をつくってください。S-N a v i で提出。
参考文献	平英美・中河伸俊[編]『新版 構築主義の社会学』

第12回	
事前学習	千葉県人権施策基本指針(改定)を、千葉県のサイトで閲覧してください。https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/jinken.html。特に、「第4章第11節 様々な人権課題」の「1. 性的指向・性同一性障害」を熟読してください。
授業内容	LGBT(1) LGBTといわれる、性的マイノリティの現代史をとりあげる。日本では「府中裁判」が、米国では「ストーンウォール事件」が大きな契機としてしばしば言及されるが、その概略を紹介する。
事後学習	LGBTを扱った映画、マンガ、小説をなにかひとつ取り上げ、そこでの取り扱い方について論じなさい。もしなにも思いつかなければ、お勧めは、よしながふみ『きのう何食べた?』(講談社)。S-N a v i で提出。
参考文献	杉浦郁子ほか[編]『パートナーシップ・生活と制度』

第13回	
事前学習	インターネットで、「医療化」という単語で検索してください。複数のサイトを見て(少なくとも5つ以上)、この概念をでどのような現象が論じられているか、概略をとらえてください。
授業内容	LGBT(2) この講義では、LGBTについて学ぶのではなく、LGBTを事例として、「医療化」「犯罪化」という社会学的概念の適用事例を紹介する。社会学主義の徹底であり、構築主義社会問題論のある種のあり方でもある。何かを問題としたり、その逆の例として取り上げる。敷衍して言えば、我々が社会現象をどのように区分し、価値づけているのかを、社会的事実として観察する、社会学の研究スタイルの一例を提示したい。
事後学習	講義を聞いての感想を書いてください。S-N a v i で提出。
参考文献	コンラッド/シュナイダー『逸脱と医療化 -悪から病いへ』

第14回	
事前学習	講義までの3日間、あなたがどのようなメディアにどれくらい接触したか、メモをつくりなさい。携帯電話、PC、テレビ、新聞、雑誌、ラジオといったメディアをどれくらい見たか、その簡単な記録をつくること。S-Naviで提出。
授業内容	情報化と大衆化について概説する。メディアの発達が国民国家の形成を促したという議論もあるが(B.アンダーソン)、現代社会ではさらに情報化が進展しており、その光と影について検討していく。構築主義的な国家論を紹介する。
事後学習	講義を聞いての感想を書いてください。S-Naviで提出。
参考文献	B. アンダーソン『想像の共同体』

第15回	
事前学習	友人3人に、それぞれ10分程度のインタビューを行い、その記録を作成しなさい。インタビュー項目は、「あなたの趣味は何ですか?」(3つ程度)、「その趣味はいつからもちましたか?」「その趣味のどんなところが楽しいですか」。S-Naviで提出。
授業内容	この講義のまとめとして、対面的な相互作用場面に注目するミクロな社会学と、全体社会の構造といったマクロに注目する社会学とが、どのように接合しえるのかを論じる。その代表として、ブルデューの文化的再生産論を取りあげる。
事後学習	「個人的な趣味」「好きずき」と思われていることが、どのように社会全体とかがかわっているか、具体的な例をあげて論じなさい。その際に、個人のあり方が社会全体を規定するという方向と、社会のあり方が「個人的な趣味」「好きずき」を規定するという方向のふたつに言及しなさい。S-Naviで提出。
参考文献	P. ブルデュー『再生産』、同『ディスタンクシオン』

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;コDP-2&gt;  【コミュニティ政策学分野における知識・技能・態度】  コミュニティ政策学に関する考え方や基礎知識・技能を体系的に理解し、地域がもつ課題の解決にあたる意欲、能力を身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(1)&gt;  コミュニティ政策学の基礎的かつ専門的な知識・技能を体系的に身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(2)&gt;  講義科目で学んだ専門的な知識とサービスラーニング活動を通じて得た実践的な経験を統合し、課題解決に必要な知識や技能を身に付けている。</p> <p>&lt;コDP2-(3)&gt;  地域社会の多様な場において、コミュニティ形成の中核を担う職業人としての態度・志向性を持っている。</p>
-----------	--